

平成28年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査 結果と考察

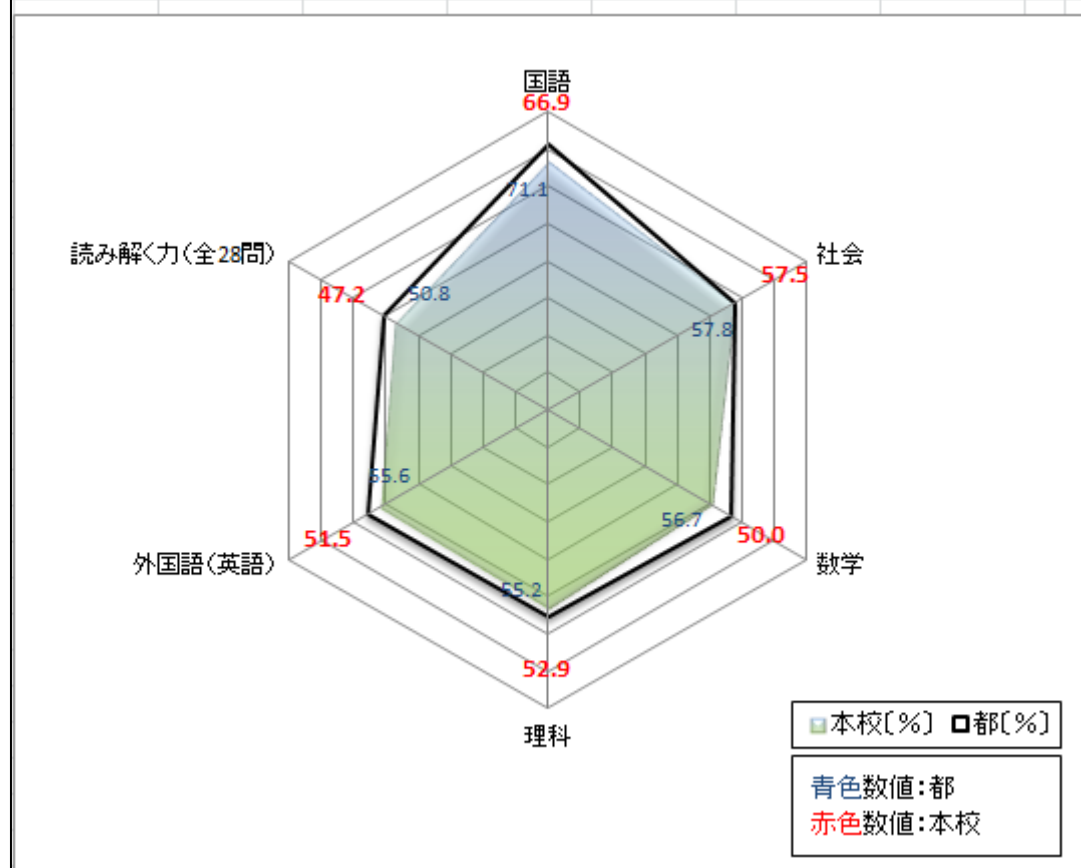
1 学力調査の結果

黄色：江戸川区の平均を超えた部分 赤色：東京都の平均を超えた部分

教科	A 教科の内容																	
	関心・意欲・態度			思考・判断・表現			技能			知識・理解			読む			A全体		
	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都
国語	93.7%	95.1%	96.9%	81.1%	80.6%	82.5%	52.4%	51.7%	62.7%	61.9%	65.4%	67.9%				69.7%	71.6%	72.9%
社会	92.1%	92.8%	93.1%	61.4%	57.1%	56.9%	58.3%	60.0%	61.1%	49.1%	45.9%	47.0%				58.2%	56.8%	57.6%
数学	84.3%	89.2%	89.5%	36.6%	37.5%	43.2%	56.5%	60.6%	63.0%	54.3%	59.1%	61.1%				55.1%	58.8%	61.5%
理科	88.2%	90.5%	90.4%	47.8%	52.2%	57.2%	67.3%	68.3%	67.4%	50.9%	53.1%	49.6%				55.2%	58.0%	57.7%
英語	78.3%	80.8%	82.8%	37.4%	36.0%	39.1%	55.6%	61.1%	64.1%	42.8%	45.2%	46.7%				50.4%	53.3%	55.7%

教科	B 読み解く力に関する内容												合計正答率 (A+B)		
	取り出す力			読み取る力			解決する力			B全体					
	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都	本校	区	都
国語	57.1%	64.9%	65.3%	52.0%	59.5%	61.3%	41.7%	43.0%	45.5%	52.0%	58.1%	59.3%	66.9%	69.4%	70.7%
社会	52.8%	55.3%	54.8%	57.1%	60.4%	59.9%	54.3%	59.4%	59.5%	54.7%	58.4%	58.1%	57.5%	57.1%	57.7%
数学	33.1%	35.4%	37.1%	39.0%	41.9%	45.1%	19.7%	28.2%	27.7%	30.6%	35.1%	36.7%	50.0%	53.9%	56.4%
理科	61.4%	62.1%	60.1%	37.0%	28.7%	30.2%	37.8%	42.3%	45.4%	45.4%	44.4%	45.3%	52.9%	54.9%	54.8%
英語	63.8%	63.4%	64.6%	49.2%	46.3%	47.8%	52.4%	47.7%	49.9%	55.1%	52.4%	54.1%	51.5%	53.1%	55.4%

《学力調査結果チャート》※本校と都の平均正答率の比較



《現状把握》

「A 教科の内容」においては、昨年はほとんどの項目で東京都、江戸川区の結果より上回った結果であったが、今年度は社会が都の平均を上回った以外は平均を下回る結果となった、しかし、「思考・判断・表現」の項目においては、国語・社会・英語で都または区の平均を上回っていることから、日ごろからの授業の取り組みの成果であると考察できる。

また、「B 読み解く力に関する内容」においては、理科と英語が各項目でそれぞれ区や都の平均を上回った。しかし、他の教科ではA問題と比較して、東京都の平均との差が開きがあることから、日ごろの授業の中で、読み解く力の改善を図っていくことが必要である。

昨年度に比べると平均を下回る教科が多かったのが現状ではあるが、レーダーチャートを見てもわかるように都の平均と大きく差が開かなかったのは評価できる部分である。本学年は入学当初からコの字型の机配置や4人組での学び合いに取り組んでいる。これらの取り組みは昨年度の結果をみても効果が認められている。今回の結果を受け、今一度上記の取り組みの質を見直し、授業改善につなげていくことが今後の課題である。

《課題への具体的な方策》

- 1 授業の目標を明確にし、分かり易い授業展開を工夫するとともに、発展的な課題を提示したりして学習意欲を喚起する。
- 2 すべての生徒が授業に主体的に取り組める環境を整備し、自ら考え判断し解決するような力の育成の工夫を図る。
- 3 「コの字型の机配置」や「4人組での学び合い」の方法と質の向上を教員間で共通理解を図る。
- 4 教材や資料を効果的に活用するだけでなく、視覚的にも効果がある電子黒板などを積極的に活用する。
- 5 ワークシートの工夫や自己評価カードなどを用い、生徒の学習状況を正確に把握する。
- 6 家庭学習の取り組ませ方の工夫と改善（「家庭学習のススメ」の定期刊行）

※「家庭学習のススメ」とは進路部が発行している学習通信である。

